

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472601812	事業の開始年月日	H15年4月1日	
		指定年月日	H15年4月1日	
法人名	社会福祉法人 久寿会			
事業所名	グループホーム 中の郷			
所在地	(2 5 2 - 0 1 3 5)			
	相模原市緑区大島 1 6 0 6 - 1			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	27名	
		ユニット数	3ユニット	
自己評価作成日	平成26年10月31日	評価結果 市町村受理日	平成26年3月27日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日の生活を安心して過ぎて頂くと同時に、楽しみ・張りのある生活を感じて頂けるようご家族参加の行事・ボランティアの取り入れ毎日の買い物・外食・外出などを取り入れ、また、地域へ向けての行事であったり、地域へ出て行き一般の方に混じり活動を行ったりとホーム内だけでなく地域との関わりも取り入れております。皆さん楽しく参加され笑顔も沢山あります。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年11月25日	評価機関 評価決定日	平成26年3月1日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の概要】
この事業所は、JR横浜線橋本駅からバスで約20分、農地や草地に囲まれた静かな環境に位置している。広大な敷地に同一法人の特別養護老人ホーム、ケアハウス、デイサービス、グループホームが立ち並び広場や駐車スペースがある。隣接して内科、整形外科、脳神経外科、眼科の病院や介護老人保健施設などがあり地域福祉・医療の拠点となっている。
事業所は鉄筋コンクリートの建物の1、2階に3ユニットのグループホームがあり、1階にはデイサービスも併設されている。建物の周囲に広いベランダが設置され、利用者の外気浴や洗濯物の干場として利用したり非常災害時の一時避難場所としても利用できる。広い屋上は眺めが良く、四季折々の丹沢の山々や夏には相模川の花火大会見物、秋のお月見などに最適である。菜園が設置されて季節の野菜や草花を育て、食材や観賞に役立てている。

【充実したケアサービスとアクティビティー】
リビングルームでは、職員が、朝のお茶を飲んでいる利用者の話し相手になったり、笑顔でさまざまなことわざを言い合っ一緒に楽しんだり、普通の家庭のゆったりとした昼前のひとときを思わせる光景であった。一方では手分けして、頃合いを見て利用者ごとのペースに合わせた誘導で排泄介助などをしていた。
外出やイベントの機会も多く、日常的な散歩や買い物を始め、季節ごとにお花見や、鯉のぼり見物、イチゴ狩り、紅葉狩り、初詣に出かけ、毎月の誕生会、バーベキュー、お月見、敬老会、クリスマス会、法人全体の事業対抗風船バレー大会など利用者が参加して楽しむイベントを実施しており、家族が参加する機会も多い。書道やオカリナ演奏などボランティアの来訪もある。これらの様子は画像にして機関誌「陽だまり」で家族に配布している。
地域との交流では、法人主催の納涼祭、もちつきで近隣住民を招き、幼稚園の七夕祭り、地域の高校などで開催される茶話会「いきいきサロン」や緑区役所の「アロハ・リラックス」などに参加して地域住民との親睦と交流を行っている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム中の郷
ユニット名	けやき

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念は掲示してあり職員間での共有をはかり、実践に繋げていけるように努めている。また、会議などを通して理念の意味や実践についての確認、実行に繋げている。</p>	<p>理念は「安心して暮らしつつげられる家作り」を主題として4項目から成っている。管理者は理念を基に、利用者が「その人らしくのびのびと生きる」ことを大切にしている。職員はその意を酌んで、利用者が第二の我が家として暮らせるように、見守ったり寄り添って日々の生活をサポートしている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>日々の散歩や買い物で地域に出掛けたり、ボランティアによる習字、オカリナ、また生き生きサロン等に参加し交流を図っている。</p>	<p>自治会に加入し、どんと焼き、ふるさと祭りなどに参加している。毎年法人が「納涼祭」と「もちつき」を行っている。昨年度、事業所独自でも「もちつき」を行った。自治会と相談して地域へのお知らせを回覧板にいれてもらい、地域の方の参加を得た。近くの保育園の七夕まつりに招待され歌や踊りを見物、園児と一緒に楽器で演奏を行った。習字や楽器演奏のボランティアも来訪している。</p>	<p>法人のイベント「納涼祭」に加え「もちつき」も開催し地域の方の参加が増えています。今後はこの企画を定着させ、地域住民の認知症についての相談を受ける場をつくることを期待します。</p>
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>日常的な交流や納涼祭、運営推進会議を通し理解をしていただくよう努めている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議での報告を主任副主任会議、合同会議で行なう事で共有を図れるように努めサービスの向上に努めている。</p>	<p>運営推進会議は2か月ごとに開催している。構成メンバーは家族代表、自治会長、地域包括支援センター職員、民生委員、法人理事長、管理者、主任職員である。事業所の状況や活動報告の後、参加者との意見交換などを行っている。会議録は緑区に提出し、各ユニット入口に置いて閲覧に供している。</p>	
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターの職員や自治会との連携を図り情報の共有し、報告等と行い協力関係を築くよう努めている。</p>	<p>相模原市高齢者政策課、介護保険課とは指導や介護申請などを通じて連携している。相模原市の「さがみはら・ふれあいハートポイント事業」の協力事業所としてボランティアを受け入れている。相模原市認知症高齢者・障害者等徘徊SOSネットワークシステムには高齢者福祉施設協議会のメンバーとして参加している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者に安心して暮らして頂けるよう心がけ、拘束しないケアを正しく理解し実践の重要性をユニット会議等で確認し取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束排除の方針は運営規定や契約書などに記載があり、契約時に説明している。身体拘束防止・排除のための委員会が設置され、研修は月1回の全体会議の中で行っている。現在、神奈川県「身体拘束廃止推進モデル施設」になるため、職員が研修に参加中である。</p>		
7	###	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>施設内研修等で学び職員意識の向上により防止に努めている。</p>			
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度について研修や勉強会で学び全職員が理解できるように努めている。</p>			
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入・退居時は利用者家族に説明を行い理解し、納得して頂けるよう努めている。</p>			
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置や面会や家族会等で意見を伺える機会を設け運営に反映出来るよう努めている。</p>	<p>利用者・家族の意見や意向は、運営推進会議などで述べる機会があり、事業所に来所するときにも聞き取っている。家族懇談会は年2回開催し、各ユニットに分かれて職員と家族の話し合いを行っている。利用者の下肢筋力の低下が気になるという家族の意見で散歩を増やしたり、富士山が見たいという要望に応え見物に行くなどしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議などで職員の意見や提案を話し合う機会を設け反映していただけるように努めている。	管理者は職員の意見をユニット会議やミーティング、日常業務のなかで聞き取っている。連絡帳などに利用者のことや自分がやりたいこと、質問などを記入して職員や管理者が閲覧して共有している。外出・外食の方法や日勤帯の業務分担について、職員の提案を取り入れて実施している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	前期・後期と目標管理シートや業務管理シートを作成し、管理者と面談を行っている。目標を持つ事で、向上心をもてるよう努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	必要に応じ研修への参加を提供してくれている。毎月のグループホーム全体会議で、担当職員による勉強会が行なわれている。また、働きながらのスキルアップも図られ、資格補助制度も設けられた。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	定期的にグループホーム部会があり市内の他施設と事例検討し技術や知識の向上に努めている。また、希望者には他施設への見学連携も取れている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の理解者として受け入れていただけるように常に耳を傾け寄り添い、言い易い雰囲気を作る事で信頼関係を築けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望や不安や思う気持ちに耳を傾け、速やかな対応を心がけ、協力しあえる関係づくりが築けるように努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の面談等においてご本人や家族が望まれる事、その時に必要な事を見極め状況に適した対応が出来るように努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	買い物から食事づくり食器洗い、洗濯干しからたたみ物、ゴミ捨て等日常生活での各場面を利用者と共に行うことで関係性を築いている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族参加行事の実施や面会、毎月の手紙等で近況を伝えており、家族と共に支えてく関係性を築いていけるよう努力している。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の大切にしている想いを受け止め希望に添った外出外泊が出来るよう支援している。家族との協力体制を築けるよう努力している。	遠方から入居された方と地域の美容院に通い、何度も行こうちに馴染みの関係となった事例がある。家族の墓参りなどで、お寺の前まで利用者を送り家族と待ち合わせるように支援している。家族や馴染みの友人に手紙や年賀状を書く支援を行い、ポスト投函を代行している。知人の面会は、家族の了承を得て対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	その時々にあった関わりを大切にしながら支援を行っている。利用者同士の人間関係を職員も把握できているので、状況に応じて支援を行っている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	久寿会の特養に移られた利用者は機会がある度に関わりを持つ事がある。退居された方などは気軽に訪問して頂ける様に関係の維持に努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の意思把握に努め、日常のさまざまな場面で自己決定の機会を大切にし、本人の思いや希望に伝えられるように努めている。	初回アセスメントや日常会話の中で何をしたいか、どのように暮らしたいかを把握している。意志の疎通が困難な場合は、家族に聞いて過去の生活歴から情報を得たり本人の表情や反応を見て察している。行きたい所の要望を把握して、スカイツリー見物の同行を家族に依頼したり、鎌倉の大仏の見物を職員が案内した事例がある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者に生活歴や生活環境を本人や家族から伺い個人ファイルを作成、活用し、把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に変化ある為職員間の申し送りや情報交換、観察、記録で全職員が把握できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプラン見直し時や状態変化のある時はモニタリングやアセスメントを行ない、ケアプラン作成している。</p>	<p>アセスメントを3か月ごとに行って利用者の状態変化を確認し「生活援助計画」を作成している。個別ケア記録にプランを掲載し、目標や項目を確認して実施状況を記録している。実施記録と「できることシート」でケアの現状を把握し、家族や職員の意見を取り入れてモニタリングを行っている。計画の見直しは3か月または状況により随時行っている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人の情報や気づきに関しては連絡帳、毎日の申し送り、ケース記録に残し職員間で情報を共有しプラン検討時に反映されている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々で生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況やニーズに応じ、その時々で柔軟に対応できるように努めている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>散歩、買い物、外食、地域ボランティアとの関わりで楽しみや活気が得られ個々の暮らしが楽しめるように支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>提携病院の月2回の往診対応やご家族希望のかかりつけ医の受診等、適切な医療を受診できるよう家族と相談しながら支援している。</p>	<p>協力医療機関の往診は各ユニット2週間ごとに行っている。訪問看護は毎週来て健康チェックや相談業務を行っている。歯科医師は毎週希望者の診療を行っている。今までのかかりつけ医の診療は家族が対応し、診療情報は聞き取ってはケース記録に記載している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	週1回訪問看護が実施されており、看護師と情報を共有し、利用者の日常できる事などを相談し連携を図っている。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	隣接する病院との連携やそれぞれのかかりつけ医への関係作りに努め、安心して治療を受け、また、早期の入退院を目指して医療関係者との連携に努めている。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	本人・家族・施設側で話し合いを行い、文章の説明交換により方針を共有し取り組んでいる。	医療連携体制加算および看取り介護の実施加算の要件を満たしている。利用者の重度化が進んだ場合には「重度化した場合の指針」や「看取り介護の説明書」を示して説明している。「看取り委員会」を設置してマニュアルを作成し各ユニットに置いてある。全体会議で講師に医師を招いて研修を行っている。これまで5件の看取り事例がある。	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	定期的に救命救急の講習や訓練なども行なわれ、知識や技術の向上に努めている。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	定期的に訓練行われている。また、消防マニュアルもあり、職員は避難方法や手順も身につけている。	今年度からは年3回の自主避難訓練を行うことになり、夜間想定訓練を実施している。訓練の内容は通報・避難および・消火器の使い方などである。災害備蓄は法人の敷地内に飲料水、食品、備品を3日分保有している。法人と地区自治会の防災協定により、災害時には双方の命令系統の一本化をはかり、自治会の住居範囲内の住民を法人の敷地に受け入れて救護にあたることになっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊厳や尊重を大切にし、個人情報取り扱い等は常に意識し、全職員で徹底を図っている。	職員は、接遇やマナーの研修を受けており、人前であからさまに介護や誘導の声かけをしないように注意している。また、他の利用者の家族や外来者の前で、本人の個人情報やプライバシーに関することを話さないようにしている。個人情報を含む書類は管理者室の施錠できる書庫に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活で個人個人に合わせ、希望を言えたり、自己決定の機会を多く持つ事でその人らしい生活を送って頂ける支援を心掛けている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自己決定を大切にし希望に添った支援を心がけ、日々の利用者の状態を察する事に努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望や好み等により楽しみながらおしゃれが出来るように支援出来ている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に応じて、共に毎日の食材の買い物、料理、味見、味付け、盛り付け、後片付けなど楽しみながら行なうよう努めている。また、屋上で野菜作りを楽しむ事で食への意欲につなげている。	献立は、職員がユニットごとに1週間分作成している。食材は、毎日利用者と買いに行ったり近所の農家から旬の野菜をもらうこともある。料理は職員の手作りで温かいものを提供し、食器は陶器を使用してランチョンマットを敷くなど家庭的な雰囲気である。利用者は配膳、下膳などを手伝っている。職員は、利用者と同席して同じ食事を食べながら、必要に応じて介助している。外食をしたりイベント食などを提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>摂取量は個別に毎食記録されている。毎食職員も共に食べており個々の嗜好や状態も把握でき、献立も栄養バランスが取れるよう配慮している。栄養師によるアドバイスも受けている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>自立されている方は各自で行なわれている。一人で行なえる方は朝夕に支援にて行なわれている。必要時は巡回歯科にて口腔ケア等されている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄記録や状態の情報共有により、個々の排泄パターンの把握に努め自立に向けた支援が出来るよう努力している。</p>	<p>介助が必要な方については排泄チェック表で把握して、さりげなく声かけや誘導をしている。失禁が多かった方が、こまめに誘導することにより失禁回数が減り布パンツに使用に戻ることができた事例がある。調査訪問時に個々のペースを合わせてトイレ誘導をしているのが見受けられた。トイレは文字表示で分かりやすい。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘について理解をし、乳製品や植物繊維を多く取り入れた献立も考えられており、起床時の飲水、毎日の体操や散歩も意識を持ち取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>本人の希望されるタイミングで入浴できている。2日に1回程の割合だが希望される方は毎日でも入れる環境にある。逆に入浴を拒む方は無理せず気分よく入浴して頂ける様に支援している。</p>	<p>入浴は、原則として午後を中心に2～3日に1回であるが、希望により回数や時間を変えている。体調によりシャワー浴などに変更している。脱衣所に入浴表を掲示してチェックしており、棚に利用者ごとのタオルや剃刀、シャンプーなどを収納している。菖蒲湯やゆず湯などで季節を感じてもらっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自室には使い馴れた物や大切にされていた物が置かれておりプライベートスペースとして意識し扱われており安心して過して頂ける様に努めている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに処方箋が挟まれており作用や副作用の理解が随時できる。薬の変更や状態の変化などは連絡ノートとケース記録、申し送りでの情報の共有も出来ている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活の中で好まれている事など職員間で随時情報を共有し楽しく生活に参加して頂ける様支援行なわれている。また、得意な事を役割として行い張り合いにも繋がっている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望者には個別で対応し、また、本人希望の引き出し家族と協力しながら外出を楽しむ支援を行っている。外泊も家族協力にて行われている。	事業所の敷地は広く散歩に適しており、天候が良ければ毎日行っている。周辺は農地が多く、散歩しながら畑の野菜や花を見たり、畑仕事をしている人達と話をしたりしている。法人の大型の車があるので、車いすや歩行困難な場合にも対応できる。遠方の公園やダム、牧場、イベント会場など広範囲に渡る地域資源を活用して出かけている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が出来る方はお金を所持し買い物などの支援を行なっている。管理の難しい方は家族と連絡を取り対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を掛けたり、手紙を出す等の要望がある時は都度対応の支援を行っている。また、携帯電話を使用されている方もいる。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な生活を心掛け居心地の良い落ち着いた空間作りを工夫している。また、季節に合った物を飾ったりベランダにガーデニングをして季節の花々を楽しんで頂けるようにしている。	共有部分は、パッチワーク、キルティングなど布地の良さを活かしたカレンダーや行事の写真、季節の飾り、毛糸編みの座布団カバーなどで「暖かみ」を感じさせている。窓際には草花や観葉植物の鉢植えが置いてあり、心を落ち着かせる効果がある。片側にはオープンキッチンが設置され利用者が手伝いやすい環境である。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う仲間同士で談話したりテレビをみて楽しめたり、一人用や二人用のソファも配置されて安らげる空間作りを心掛けている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に協力して頂き家で使用していた家具や馴染みの物を置いて工夫している。安全で使い易い家具の配置にも心掛けている。	居室は、採光が良く明るい。空調設備、照明器具、収納設備、防災カーテン、洗面台が常備されている。利用者はベッドやテレビ、チェスト、使い慣れた生活用品や家族の写真を持ち込んでその人らしい暮らしの場としている。清掃は、居室担当職員と利用者が協力して行っている。入口に木製の飾り棚があり、利用者が目印として、折り紙や写真などを置いている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者が出来る限り自立し行って頂けるように常に危険物収納には気配り行っている。利用者が安全で自由に行動できる環境作りに取り組んでいる。		

事業所名	グループホーム
ユニット名	ひばり

アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	施設の納涼祭の行事、散歩や買い物、自治会や幼稚園 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ケース記録の一番前にファイリングしてあり、職員毎日目を通し、理念の共有を行なっている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設の納涼祭の行事、散歩や買い物、自治会や幼稚園のイベントの参加、また生き生きサロンに参加し地域の方々と交流を行なっている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営者会議を行ない、会議を通じ、地域の人々に理解して頂けるようになっている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議や話し合いを通じて、意見などを参考にし、サービス向上に活かしている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターの職員との連携を維持し、協力を得られるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が理解しており、利用者に安心して頂けるよう取り組んでいる。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修への参加や会議の中で勉強会を行ない、また全職員で常に注意し、防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修で学んだことを全職員で共有し、活用できるように努めている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居・退居時に説明を行ない、理解して頂けるように努めている。また、都度、不安や疑問点に対応し納得して頂けるように努めている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置、家族会、面会時に意見等を伺える機会を設け、運営に反映出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の合同会議やユニット会議において、職員の意見や提案等を聞き、反映できるように努めている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回管理者との面接を行ない、各自の目標・自己評価を行ない目標の達成状況についても話し合う機会を設けている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月行なわれている法人研修、施設内研修への参加をする機会を増やす事で取り組んでいる。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム部会での事例検討や施設見学などを行ない、勉強し、向上できる機会を設けている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	要望や困っていることなど、日常的な会話や動作から本人に聞き、本人が安心できるような関係作りに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の面会時などに要望等や本人の状態等を聞き、状況に応じての対応を心掛け、関係作りに取り組んでいる。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人と家族の思いを汲み取り、状況に適した対応に努めている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日常生活での生活を共有することで、利用者と職員の対等な関係を築けるように努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族と共に過ごす時間を多く取れるよう本人と家族の絆を大切にできるように努めている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>利用者が大切にしてきた人や物を大切にし、面会など気軽に訪問できる雰囲気作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	コミュニケーションを行なう際に職員が間に入ったり、共有できる事で利用者同士の関わりを深めるように努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他事業所に移動された利用者へは、様子を見に行ったりし、その事業所の職員の相談をアドバイスしたりと入居時同様の支援を継続しやすいような関係の維持に努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の希望等にそえるように、ミーティングなどにて職員同士で話し合いを行ない、利用者の意向の把握できるように努めている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族に生活歴の情報を記入して頂き、また日常生活の会話の中から本人の情報の把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録や職員間での話し合い、ミーティング等にて職員同士の情報の共有を行ない、把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	ミーティングやケアのあり方などを職員間で話し合い、本人にとってよりよい介護計画の作成に努めている。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	ケース記録や連絡帳などを活用し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	日々の生活の中で変化を見落とさずに状況の把握に努め、プランの見直し等をし柔軟な対応を行なっている。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	買い物やボランティアの関わりにて、利用者の暮らしを楽しむことができるように支援している。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	以前からのかかりつけ医に受診されたり、施設連携の病院に受診したりし、適切な医療を受けられるように支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎週の訪問看護において、身体変化や血圧などのことを相談し、対応を行い、適切な支援に取り組んでいる。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	面会や病院関係者との情報交換をし、関係作りに取り組んでいる。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	利用者、家族、施設側と話し合いの場を持ち、文書の説明交換により方針を共有し取り組んでいる。		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	職員は消防署の救命講習への参加や知識の共有を行なっている。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	年に2回の消防訓練の実施、火災発生時のマニュアルの熟知等により全職員は理解し身につけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	施設内研修やマナー研修にて勉強し、全職員での対応の徹底を図っている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の中で会話の中から本人の思いや希望を聞いたりし、本人の意思や自己決定できるように働きかけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望を聞き、その人のペースに合わせた支援を行なっている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の起床支援時に身だしなみを整える支援をしている。また、行事等の時は化粧をしたりと、支援を行なっている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入所時に嗜好調査を行なうとともに、日々の食事の会話の中で本人の好みを理解していくように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事・水分量は毎回記録に残しており、栄養バランス等は定期的な栄養士によるチェックを行なっている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>就寝時に口腔ケアを行ない、朝、夕と自立の方には声かけしている。また、多く水分を取るようにし、口臭ケアに努めている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄間隔をチェックしながら、個々の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援に努めている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食物繊維の豊富な食材を献立に多く取り入れるようにしている。また、毎朝体操を行ない運動を行なっている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴表を活用し、2日間隔にて入浴を行なえるように努めている。。また、希望があれば、入浴出来るように行なっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>昼寝をされたり、夏・冬には就寝前に室温の調整を行ない環境調整を行ない安心して快適になるように努めている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個々のファイルに処方箋がはさんであり、内服薬の内容等を理解し、職員は情報の共有ができるように行なっている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>外出やボランティア、レクリエーション等をし、個々にあった楽しみを探し楽しみある生活になるように支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物や散歩を日常的に行なっている。また、月に1回外食をしている。普段いけない場所等は家族に協力して頂き出かけられるように努めている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理の出来る方へは、希望により対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者には都度対応行なっている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	担当を決め、季節感の演出を行なっている。また、水槽や植木鉢を置き、利用者が世話を行なうようにし、家庭的な雰囲気を作っている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや少数人数で座れるテーブル席を設置しており、思い思いに過ごせるような環境作りを行なっている。また、居室内に椅子が置いてあり、1人になれるようにもしてある。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた物や持ち物など各自の居室に置いてあり、居心地よく過ごせるようにしてある。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ケース記録、連絡ノート、ヒヤリハットノートを活用し、取り組んでいる		

事業所名	グループホーム中の郷
ユニット名	ゆり

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ケース記録の一番前にファイリングされており、いつでも見られるようにし、職員は毎日目を通し、理念の共有を行なっている。また、会議等で理念について話し合いする場がある。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設の納涼祭、散歩や買い物、自治会のイベントに参加している。施設のフェンスを利用した野菜作りでは地域の方から話しかけられる事も多く会話のきっかけとなっている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営者会議を通じ、地域の人々に理解して頂けている。また、催し物等で地域の人々に向けて活かしている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議や話し合いを通じて、意見などを参考にし、サービス向上に努めている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターの職員や自治会との連携を維持し、協力を得られるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が理解しており、利用者に安心して頂けるよう取り組んでいる。また、各自出入りは自由であるがエレベーターはロックがかかっており、家族には説明されている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>肌を見る機会には身体チェックを行っている。研修への参加や会議の中で勉強会を行ない、また全職員で常に注意し、防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修で学んだ事を全職員で共有し、活用できるよう努めている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居・退居時に説明を行い、理解して頂けるよう努めている。また、都度、不安や疑問点に対して納得して頂けるように努めている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置、家族会、面会時に意見等を伺える機会を設け、運営に反映出来るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の合同会議やユニット会議において、職員の意見や提案等を聞き、反映出来るよう努めている。管理者は職員の意見を日常の業務の中で聞いており信頼関係はできている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回管理者との面接を行い、各自の目標・自己評価を行い目標の達成状況についても話し合う機会を設けたり、会議等にて職員個々との理解を深める事で、向上心を持って取り組めるよう努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外研修、施設内研修への参加する機会を増やす事で取り組んでいる。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内のグループホーム部会での事例検討会や勉強会、施設見学など、同業者の交流もでき向上できる機会を設けている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	要望や困っている事など、日常的な会話から耳を傾けながらコミュニケーションを図り、本人が安心できるような関係作りに取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望や不安な事を聞き、利用者の現状を伝えながらも、なるべく家族の要望に添えるようにしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族の思いをくみ取り、状況に適した対応に努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者を家族のように思い、常に利用者を理解し安心して過ごしていただけるように努力している。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いを共有し、利用者と家族の絆を大切にしながら支援している。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの人、場所を認識し、途切れないように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が上手くコミュニケーションが取れるように、職員が間に入って会話やレクリエーション、お手伝いなどをして頂いている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	特養棟に移動された利用者へは行事等での繋がりもあり、また様子を見に行ったり入居時同様の支援を継続しやすいような関係維持に努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	思いや希望、意向にそえるようにミーティング等を活用し、検討を行っている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ユニット会議やミーティングで会話によって得られた利用者の希望や好み家族の意向を話し合い実行できるものは情報をやりとりし反映している。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録を活用し、また職員間での話し合い等にて情報の共有を行い、把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	毎月行っているユニット会議にて、個々のケアの要点の共有と定期的モニタリングをし、よりよい介護計画の作成を心掛けている。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	毎日、個別に一日の行動を記録し職員は必ず目を通す事にしており、そこから変化をみつけプランに反映している。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	状況の把握に努め、必要に応じてプランの変更を行ったりと対応している。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	買い物やボランティア（習字やオカリナ等）のかかわりの中から、利用者の暮らしを楽しむ事が出来るように支援している。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	以前からのかかりつけ医に受診されたり、施設往診にて受診できるよう選択できるようにしている。希望により、かかりつけ医に受診の付き添いも行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	毎週訪問看護において、情報、気づきを伝えている。		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	提供している病院があり、情報交換を行っている。		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	利用者、家族、施設側とで話し合いの場を持ち、文章の説明交換により方針を共有し、チームで支援に取り組んでいる。		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	消防署の救命講習への参加、知識の共有を行っている。		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	消防訓練の実施、火災発生時のマニュアルの熟知等により全職員は理解し身についている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	施設内研修にて勉強し、全職員での対応の徹底を図っている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の中で本人の思いや希望を聞いたり、本人の意思や自己決定できるような声掛けを心掛けている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	提案を行い、実行もするが参加するかは利用者に任せている。本人の希望を優先し、より良い一日が過せるように支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装選びなど一緒に行なったり、化粧をしたり、行事や外出時のおしゃれを楽しめる様支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入所時に嗜好調査を行なうと共に、日々の食事の会話の中で本人の好みを理解していくように努めている。ランチョンマットや食器を工夫し楽しめるような食卓作りをしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事水分量は誰でも一目でわかる用紙に毎回記録に残している。個々にあわせて食事量の調整等行っている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>朝、夕、自立の方には適時声掛けや見守り支援し、援助必要な方は声掛けながら職員が行っている。個々に応じた支援を行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄間隔をチェックしながら、個々の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援に努めている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食物繊維の豊富な食材を献立に多く取り入れてる。起床時の飲水、散歩、体操などで予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴表を活用し、2日間隔にて入浴行っている。また、希望があれば毎日でも入浴できるように行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の体調に合わせて午後の睡眠を取り入れたり就寝前の環境を整えたり支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人一人処方箋が把握できるようにファイルされている。服薬の支援、症状の変化の確認に努めている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>外出や外食、地域の催し物の見学に行ったり、希望に沿って買い物支援も行っている。室内で楽しめるゲームやレクリエーション等も行っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物や散歩を日常的に行っている。また、普段行けない場所等は家族に協力して頂き出掛けられる様支援している。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理の出来る方は、希望により対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話や携帯電話、手紙を書かれたりと、希望者には都度対応している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	観葉植物や鉢植え、不定期に季節の花束を生けたり、冬にはコタツをだしたりと生活観や季節感を感じるように取り組んでいる。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーやテレビをおき、好きな場所にて過して頂けている環境にしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者になじみのある家具を持参されたり都度取り入れられるように支援している。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ケース記録、連絡ノート、ヒヤリハットノートを活用し取り組んでいる。トイレの場所が分からない方にはわかりやすく表示したり迷わないよう対応している。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム中の郷

作成日 平成26年 3月24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	内外での地域交流は頻繁に行なっているが、地域の方に向けての地域貢献は近隣が離れている為難しい。	地域交流を積極的に行なう。	地域に向け勉強会や催しを企画しホームに入りやすい情報を流す。	1年間
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。